

医療法人 博俊会 春江病院



贈呈理由 > 厨房・浴室給湯に業務用エコキュートを採用し、省エネを実現



春江病院全景

春江病院の前身は、1946年に開院した春江医院まで遡る。54年に春江病院となり、70年に春江町江留下屋敷に新築移転した。その後、96年に医療法人博俊会を設立し、地域住民の要望に応えながら増改築を8期にわたり行って、現在の21診療科137床となった。春江近郊の地域医療を担うべく、いろいろな局面で地域に愛される開かれた医療機関、さらには、地域と患者さんと職員の幸せを支えられる地域密着型病院として地域に貢献している。

春江町江留下屋敷に春江病院を建築してから46年を経過し、建物が老朽化していることにも加え、耐震問題と増床と業務拡張により手狭となったため、2016年6月に現在の春江町針原の地に新築移転した。建物は、1階が外来診察室、救急・放射線・検査・薬剤部門、2階がリハビリテーション室、健診・手術部門、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、3階が一般病棟、4階が地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、5階が厨房、研修ホールとなっており、救急医療だけでなく、予防医学、社会復帰支援、在宅医療にも力を入れている。駐車場を広くとることで、通院しやすい



業務用エコキュート

環境も整え、電子カルテの導入により、会計時間・薬受け渡し時間（院内調剤）も短縮し、その点でも患者さんにやさしい病院となっている。

病院新築にあたり、安定した医療提供のための病院経営を目指し、環境性・省エネ性、および、昼間ピークの削減によるコスト削減（電力負荷の平準化）を考慮しながら設備の計画をしていく中で、浴室および院内への給湯に、高効率な業務用エコキュートと夜間蓄熱可能な給湯タンクを採用した。業務用エコキュートの導入により、給湯のエネルギーの使用量は30%削減する見込みである。また、空調もヒートポンプ式空調機を採用し、個別分散方式として省エネ性・快適性の向上を狙っている。

今後も給湯負荷の実績を把握しながらさらなるエネルギーの効率的運用を



春江病院正面

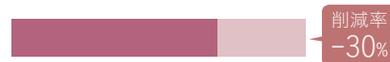
目指して運用面を工夫していく予定である。

一次エネルギー消費量削減効果

【採用システム】

業務用エコキュート

【従来システム】
LPG式給湯器



[諸元] 同一負荷条件による年間シミュレーション比較
電気（昼間）9.28MJ/kWh
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」
（平成28年3月1日改正）

医療法人 博俊会 春江病院

所在地：福井県坂井市春江町針原第65号7番地

建築設計：(株)内藤建築事務所・

(株)走坂建築設計事務所JV

建築施工：石黒建設(株)

延床面積：9,773㎡

竣工：2016年6月（更新）

URL：http://www.harue-hp.org/

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート 56kW×6台 [三菱電機]
貯湯槽：4㎡